

質問 容器包装リサイクル法への対応をどうされていますか。

回答 プラスチックについては、三鷹市、調布市ともプラスチック（資源物）として収集し、ふじみ衛生組合のリサイクルセンターで手選別を行い、容器包装リサイクル法に基づき、指定法人ルートでリサイクルを行っています。

質問 プラスチックごみを容器包装リサイクル法とは別にRDF化している理由を教えてください。

回答 上記のとおり、プラスチックについては、原則、容器包装リサイクル法に基づき、指定法人ルートでリサイクルを行っていますが、容器包装以外のプラスチックや容器包装プラスチックでも汚れ等により指定法人ルートでリサイクルできないものについては、最終処分場の残容量が少なく最終処分場の延命化を図る必要があることから、民間事業者へ委託し、RDF化を行っていました。

ただし、このたび発電設備を備えた新ごみ処理施設（クリーンプラザふじみ）が稼働したことから、現在はRDF化を止めクリーンプラザふじみで熱回収を行っています。

質問 「ゴミ処理に要する費用、特に住民一人当りの費用について。また、費用削減に向けて、如何なる工夫、努力をされているのか。」

回答 ごみ処理にかかる経費は、平成23年度実績で、三鷹市が約29億円、住民一人当たり約16,600円、調布市が約52億円、住民一人当たり約23,500円となっています。三鷹市に比べて調布市が高いのは、調布市については焼却場が老朽化により稼働を停止し、焼却処理を周辺の自治体や民間施設にお願いしているため、運搬経費や焼却経費の負担が大きいためです。

収集運搬経費の費用削減については、三鷹市から回答をいただくこととします。

中間処理及び最終処分の費用削減については、PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）やPPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）など民間活力の導入、長期継続契約の導入、広域化の推進、計画的な施設の更新、法律や制度変更を見直した施設の整備などがあげられます。なお、広域化に当たっては、関係市と連携し収集方法の統一を図るなど効率的な施設整備を進める必要があります。

質問 公害防止協定値があった場合ですが、それは国の規制値に上乗せはあるのでしょうか。

回答 別添パンフレットのとおりに、国等の規制値よりも厳しい自主規制値を設けています。

質問 排煙基準値（住民協定値）について

回答 別添パンフレットのとおりに、国等の基準値よりも厳しい自主規制値を設けています

質問 周辺地域の大气汚染のモニタリング実施について
測定項目、予測値・実測値（環境基準値との比較）について

回答 平成25年度は、環境影響評価で実施した7ヶ所と排ガス最大着地濃度出現地点2ヶ所の計9ヶ所でモニタリングを実施し、影響がないと判断した場合には、平成26年度から排ガス最大着地濃度出現地点2か所で実施します。
施設稼働前の実測値は、別添、31回地元協議会資料3-1のとおりで

質問 管理体制（ISO14001）の概要について

回答 ISO14001については、今後取得する予定です。

質問 施設の着工にあたっては、環境問題の観点から、周辺住民の理解、「安心・安全」の科学的検証が重要と思いますが、大きな支障はありませんでしたか？

回答 本事業は各種市民会議での検討、説明会、アンケートの実施など市民の皆様と協働で推進してきました。排ガスの自主規制値等を含め市民の皆様の手作りの施設であり、大きな混乱はありませんでした。

質問 施設の耐用年数は？

回答 30年以上使用することを前提に、設計、建設、運転を行うこととしています。

質問 年間稼働日数、従業員数、差支えなければ年間運用コスト（コストに含むもの、除いているものを明記して下さい）もご教示下さい。

回答 稼働日数は、ごみ量にもよりますが、1炉運転が年200日から230日程度、2炉運転が120日から150日程度になりそうです。従業員数は約30名で、運営費は20年で50億6,100万円ですので、約2億5,000万円/年になります。これには基本的にすべての費用が含まれています。

質問 三鷹市・調布市は「ごみの減量優等生」と言われています。1人1日当たりのごみ排出量（直近年度および5年前）及び一般廃棄物のリサイクル率を同様の年度で教えて下さい。又、どのような施策で、減量化やリサイクル率アップが進んだのでしょうか？

回答 三鷹市から回答しますが、調布市も同様の数値です。

質問 対象人口について

回答 393,742人(平成20年1月1日現在)
三鷹市:177,985人 調布市:215,757人

質問 対象ごみ量について

回答 可燃ごみ69,900t/年 粗大ごみ1,200t/年
資源化物選別後可燃物等6,200t/年

質問 災害廃棄物の処理は計画に入っているか?

回答 市民のごみ減量が進む中で、災害廃棄物の処理計画量を施設規模に見込むと過大な施設規模になる可能性が高かったことから災害廃棄物の処理計画量は見込んでおりません。実際、平成25年度の焼却量は、計画処理量よりも7,000t/年ほど下回る見込みであり、災害廃棄物の処理計画量を見込まなくてよかったと認識しています。

質問 計画ごみ質(低位発熱量)について

回答 基準ごみ低位発熱量10,500KJ/Kg(2,200kj/kg)
水分 41.3% 可燃分 51.7% 灰分8.3%
なお、計画ごみ質は、ごみの減量・資源化施策の効果を見極めたうえで設定する必要があるので、整備計画を確定する段階まで見直しを行うこととする。

質問 施設規模決定の根拠(年間稼働日数等を考慮して)について

回答 施設規模決定の根拠は、上記人口、ごみ量、災害廃棄物、ごみ質等を踏まえ決定した。

質問 廃熱ボイラの蒸気発生量/基、発生蒸気圧力・温度について

回答 26.4t/h、400℃、4MPa

質問 蒸気タービン発電機のタイプについて

- 背圧式?この場合排気の蒸気は何MPaで用途は?
- 抽気復水式?この場合抽気蒸気は何MPaで用途は?
- 復水式?復水器は空冷、水冷?

回答 抽気復水式で3.8MPa、用途は温水です。

質問 パンフレットによると場外へ温水を供給する予定と書いてあるが実際やっているか？温水の供給熱量は？（温水量および供給温度、戻り温度）

回答 平成28年度に三鷹市の防災公園・多機能複合施設ができる予定であり、40℃の温水を1時間当たり60トン送る予定です。戻り温度は20℃を想定しています。

質問 事業費101億円とあるがこれは施設の建設費？

回答 建設費（設計費含む）の費用です。

質問 運営・維持管理費はいくら？これも民間委託？

回答 本事業はBDO（公設民営）方式であり、運営費は20年間で50億6,100万円（税込）です。

質問 焼却灰の搬出先（処理方法）およびコストは？

回答 ふじみ衛生組合から40キロメートルほど離れた日出町にエコセメント化施設があり、焼却灰はエコセメント化し、リサイクルを行っています。なお、この施設は東京都の25市1町で組織する東京都たま広域資源循環組合という一部事務組合で建設・運営を行っていて、費用は均等割、人口割、処理量割等によって計算されるため、トン単価ではありません。